

Watch

ト 与

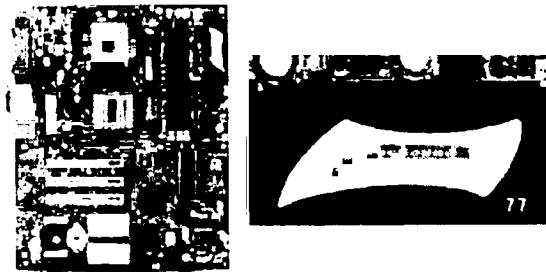
梶ノ木隆のPC実験室

真空管アンプ搭載マザー「Aopen AX4B533-TUBE」を試す

今年6月のCOMPUTEX TAIPEIでAOpenのブースに展示され、その発想の奇抜さで話題を集めたのが「AX4B-533 Tube」である。一見通常のアンプに見えるが、オーディオのアナログ出力に真空管を利用したアンプ搭載するという、非常に「アナログ」なマザーボードである。その効果はいかほどなものか、という事で早速ためしてみた。

1 マザーボード上に真空管アンプを実装

AOpenから登場したAX 4B-533 Tubeは、同社製品であるAX4B-533(日本では未発売)をベースとし、サウンド出力部に真空管アンプを搭載したPentium 4/Celeron向けマザーボードである。真空管を使ったオーディオアンプといえば、懐かしさを覚える読者もおられるだろうが、広く普及した半導体アンプや、最近主流のデジタルアンプには無い「味」を求めて、今も一部のオーディオマニアの間では使われているし、そうした層を狙った製品や組み立てキットも今なお存在している。本製品では、PCIスロット3本とCNRスロットを AX4B-533から取り除き、空いた場所に真空管アンプを実装。AC'97 Codecのオーディオ出力をここに直結することで、「味のある音声出力」ができることをウリとしている。



AOpenのAX4B-533デジタルとアナログの紹介
Tube。上部3分の2を成功させたことを示す
見れば普通のATX「TubeSound」
マザーだが、下部が「TECHNOLOGY」のエンブ
ちょっと異様な光3ライ・レム

【追記】享ITJ...
寸と、xで、マセ、寄つて、再しを、が、読者、号り、同、f、呈したL7)で削ト如、fitました

なお、本製品は現在では入手がかなり困難となっている。それもそのはずで、本製品はAOpenの直販
±企で「100枚限定予約販売」という形態を取られたからだ。本来は日本市場に投入するつもりがな
かったため、このような限定販売になったそうだが、それだけ日本国内での販売を望む声があったという
ことだろう。購入価格は25,000円(その後米国からの直輸入品が秋葉原の店頭でも並んだ)。

真空管アンプ搭載という時点で、イロモノ的な匂いがしてくるこの製品だが、限定予約販売というオマ
ケがついて、さらに食指を動かされる製品となっている。マザーボード上には真空管アンプ搭載をア